

高山朋子教授年譜ならびに主要業績目録

生年

1940年3月 樺太庁豊原市に生まれる

学 歴

1958年3月 岩見沢東高等学校卒業
1958年4月 北海道大学文類教養課程入学
1962年3月 北海道大学経済学部卒業
1968年4月 北海道大学大学院経済学研究科修士課程入学
1970年3月 北海道大学大学院経済学研究科修士課程卒業
1970年4月 北海道大学大学院経済学研究科博士課程入学
1972年3月 北海道大学大学院経済学研究科博士課程単位取得退学

職 歴

1962年4月 日興証券株式会社入社
1963年10月 日興証券株式会社退社
1966年9月 望月武義税務会計事務所入所
1967年3月 望月武義税務会計事務所退所
1967年4月 北海道大学経済学部事務助手
1968年3月 北海道大学経済学部事務助手退職
1972年4月 北海道大学経済学部研究助手
1975年3月 北海道大学経済学部研究助手退職
1975年4月 旭川大学経済学部専任講師
1977年3月 旭川大学経済学部専任講師退職
1977年4月 東京経済大学経営学部専任講師
1980年4月 東京経済大学経営学部助教授
1985年4月 東京経済大学経営学部教授
1987年6月 商学博士学位取得（大阪市立大学）
1988年4月～1990年3月 東京経済大学海外研究員としてフランス留学
Ecole des Hautes Etudes Commerciales（HEC）において客員研究員
2010年3月 東京経済大学経営学部教授を定年退職

2010年4月 東京経済大学名誉教授の称号を授与される

社会における主な活動

1996年7月～1999年6月 国土庁土地鑑定委員会 土地鑑定委員
1999年7月～2002年6月 国土庁土地鑑定委員会 土地鑑定委員
2002年4月～2002年8月 国分寺市下水道使用料審議会会長
2002年7月～2005年6月 国土交通省土地鑑定委員会 土地鑑定委員
2005年4月～2007年3月 国土交通省独立行政法人評価委員会 委員
2007年4月～2009年3月 国土交通省独立行政法人評価委員会 委員
2009年4月～2011年3月 国土交通省独立行政法人評価委員会 委員

所属学会

日本会計研究学会 現在
会計理論学会 現在
日本会計史学会 現在
財務会計研究学会 現在
日本簿記学会
証券経済学会
信用理論研究学会
金融学会
日仏経営学会
Association française de comptabilité
European Accounting Association
Academy of Accounting Historians

業績目録

単 著

1983年 『現代減価償却論』白桃書房, 1986年 再版
2002年 『財務諸表の理論と制度』森山書店

共 著

1978年 「信用構造の変容と株式会社の内部金融」, 松井安信・三木毅編著『信用と外国為替』ミネルヴァ書房

- 1978 年 「貸倒償却と貸倒引当金」, 「有価証券」, 「固定資産」, 「資本金」, 「伝票と証ひよう」, 市川深, 久木田重和編著『簿記学習』中央経済社
- 1983 年 「設備投資と減価償却会計」, 遠藤孝他編『現代会計学－現代社会と企業会計－』大月書店
- 1986 年 「株式プレミアム論争とその主要論点」, 敷田禮二, 山口孝編『批判会計学の展開』ミネルヴァ書房
- 1989 年 「企業会計の計算構造」, 新井清光編著『企業会計原則の形成と展開』中央経済社
- 1993 年 「固定資産と減価償却」, 遠藤孝・角頼保夫編『現代会計－課題と展望』ミネルヴァ書房
- 1998 年 「会計の計算構造」, 遠藤孝・近藤禎夫・高山朋子・根津文夫『会計学』森山書店
- 1998 年 「ルカ・パチヨリの『スママ』と簿記会計論」, 片岡泰彦編著『我が国パチヨリ簿記論の軌跡』雄松堂
- 1999 年 「会計基準の国際的調和化における諸問題」, 津守常弘教授還暦・退官記念著作編集委員会編『現代会計の国際的動向と展望』九州大学出版会
- 2005 年 「ルクセンブルグのプラン・コンタブル」, 野村健太郎編著『プラン・コンタブルの国際比較』, 中央経済社。
- 2009 年 「仕訳と転記」「試算表と精算表」「決算(そのI)」, 久木田重和編著『アカウンティング・エッセンシャルズ－基本簿記を学ぶ』中央経済社

学術論文

- 1970 年 1 月 「企業の資本調達に関する研究」(修士論文) 北海道大学大学院
- 1972 年 5 月 「フランスにおける企業金融－19世紀後半から第一次大戦まで－」北大『経済学研究』第22巻第1号
- 1972 年 11 月 「フランス企業の資本蓄積と信用制度－両大戦間期について－」北大『経済学研究』第22巻第3号
- 1974 年 1 月 「減価償却の本質と減価償却基金の『拡大効果』」北大『経済学研究』第23巻第4号
- 1974 年 12 月 「フランス証券市場の生成及び発展過程について－その株式会社との関連を中心にして－」北大『経済学研究』第24巻第4号
- 1976 年 3 月 「減価償却基金の即時再投下による生産拡大について」『旭川大学紀要』第4号

高山朋子教授年譜ならびに主要業績目録

- 1977年 3月 「フランスの減価償却制度と自己金融」 『旭川大学紀要』第5号
- 1977年 12月 「自己金融と減価償却に関する一考察」 『東京経大会誌』第104号
- 1978年 5月 「第一次大戦前のフランスの証券市場」 『証券経済学会年報』第13号
- 1979年 4月 「ローマン・ルフチ効果論の検討－減価償却基金による『拡大効果』論争(1)」 『東京経大会誌』第111号
- 1980年 3月 「成長企業における減価償却基金の即時再投資効果について－減価償却基金『拡大効果』論争(2)」 『東京経大会誌』第115号
- 1980年 5月 「減価償却基金による拡大効果についての諸問題」 『証券経済学会年報』第15号
- 1981年 3月 「資産概念と費用認識について」 『東京経大会誌』第120号
- 1981年 11月 「サービス・ポテンシャル概念に基づく減価償却論の検討」 『東京経大会誌』第123号
- 1982年 11月 「減価償却方法と耐用年数について」 『東京経大会誌』第128号
- 1983年 12月 「企業者利得と創業者利得」 『東京経大会誌』第134号
- 1984年 1月 「企業会計の計算構造－動態的会計理論の再検討のための一試論－」 『産業経理』第43巻第4号
- 1985年 8月 「企業会計理論の基本問題に関する若干の考察」 『會計』第128巻第2号
- 1985年 9月 「資本概念と株式プレミアム」 『東京経大会誌』第142号
- 1985年 11月 「株式プレミアムに関する資本説の検討」 『東京経大会誌』第143号
- 1986年 11月 「株式プレミアムと資本準備金制度(一)」 『東京経大会誌』第148号
- 1987年 7月 「会計理論の再構築に向けて」 『産業経理』第47巻第2号
- 1987年 9月 「企業会計の計算構造」 日本会計研究学会特別委員会中間報告, 委員長新井清光『企業会計原則と商法計算規定』 日本会計研究学会
- 1989年 5月 (共) Lionel Collins and Tomoko Takayama, The Comparative Importance of The Balance Sheet in French and Japanese Accounting History, *Cahiers de Recherche 341* Centre HEC-ISA France
- 1991年 4月 「簿記会計の歴史とその機能についての一考察－フランスにおける商業帳簿規定を中心にして－」 『産業経理』第51巻第1号

- 1991 年 12 月 「フランス商法会計制度の成立とその影響」 『日仏経営学会誌』 第 8 号
- 1991 年 12 月 「企業会計の計算構造と自己資本の意義」 『東京経大会誌』 第 173 号
- 1992 年 8 月 「企業会計における自己資本の意義について」 『会計理論学会年報』 第 6 号
- 1993 年 4 月 「公的非営利団体の会計についての一研究－ナポレオンの軍隊の会計を素材とした企業会計との比較研究－」 『東京経大会誌』 第 182 号
- 1994 年 3 月 「ナポレオンの軍隊の会計帳簿と監察制度」 『会計史学会年報』 第 12 号
- 1994 年 3 月 Military Accounting System of Napoleon's Army, *Yearbook of Accounting History Association No.12*
- 1994 年 11 月 「ルカ・パチヨリの『スムマ』と簿記会計論」 『東京経大会誌』 第 189 号
- 1995 年 9 月 「社会制度としての会計規制の根拠について」 『東京経大会誌』 第 193 号
- 1996 年 3 月 「資本概念と複式簿記の計算構造」 『東京経大会誌』 第 196 号
- 1996 年 4 月 「ディスクロージャー制度と受託責任について」 『産業経理』 第 56 巻第 1 号
- 1996 年 9 月 「受託責任を内包する統一的なディスクロージャー制度へ」 『会計理論学会年報』 第 10 号
- 1998 年 9 月 「擬制資本と会計（1）－擬制資本と土地および暖簾についての若干の考察－」 『東京経大会誌』 第 210 号
- 1998 年 10 月 「『減価償却』の本質について」 『税務会計研究』 第 9 号
- 1998 年 12 月 「グッドウィルをめぐる諸問題と擬制資本」 『會計』 第 154 巻第 6 号
- 1999 年 2 月 「擬制資本と会計（2）－擬制資本の価格および評価損益の取り扱いについて」 『東京経大会誌』 第 212 号
- 2000 年 3 月 「企業結合会計に関する一考察」 『東京経大会誌』 第 218 号
- 2000 年 9 月 「価値の評価方法と企業会計－M&A と企業価値評価を中心として－」 『東京経大会誌』 第 220 号
- 2001 年 3 月 「負債の概念と退職給付引当金」 『東京経大会誌』 第 222 号
- 2001 年 10 月 「評価損益と包括的損益計算書」 『東京経大会誌』 第 226 号

高山朋子教授年譜ならびに主要業績目録

- 2003年12月 「企業会計の機能と開示偏重の問題点」 北大『経済学研究』第53巻第3号
- 2004年3月 「法定準備金の取崩, 評価損益, 配当をめぐる主要問題」 『東京経
大学会誌』第238号
- 2004年9月 「ルクセンブルグのプラン・コンタブル」 スタディグループ中間報告
書, 代表野村健太郎『各国プラン・コンタブルの比較研究』, 日
本会計研究学会
- 2005年9月 「ルクセンブルグのプラン・コンタブル」, スタディグループ最終報
告書, 代表野村健太郎『各国プラン・コンタブルの比較研究』,
日本会計研究学会
- 2005年10月 「プラン・コンタブルと資本市場のグローバル化」, 『東京経大学会誌』
第246号。
- 2005年11月 「土地の価格のはなし」 『学士会会報』2005-VI No.855
- 2006年3月 「受託責任を基礎にした情報開示について」 『東京経大学会誌』第
250号。
- 2007年3月 「会社法及び会社計算規則に基づく資本会計の諸問題」 『東京経大
学会誌』第254号。
- 2008年11月 「株式プレミアムと所要機能資本説－株式プレミアムと資本準備金制
度(二)－」 『東京経大学会誌』第260号
- 2010年3月 「株式プレミアム拠出資本説の再批判－岡部利良の反批判への反論を
中心にして－」 『東京経大学会誌』第266号。

書評その他

- 1970年12月 税理士試験合格(旧姓:佐藤朋子)
- 1981年10月 書評「佐藤博明著『会計学の理論研究』」 静岡大学人文学部『法経
研究』第30巻第2号
- 1986年4月 書評「佐藤信吉著『総合減価償却論』」 『企業会計』第138巻第4号
- 1991年6月 コメント「森川博報告『減価償却と発生主義との関連およびその歴史
的性格』」 『会計理論学会年報』第5号
- 1992年2月 書評「辻山栄子著『所得概念と会計測定』」 『企業会計』第44巻第
2号
- 1995年3月 「日本会計史学会第13回大会記」 『会計史学会年報』第13号
- 2002年4月 金融辞典編集委員会編, 編集代表: 深町郁彌・西村閑也・小野英祐・
吉田暁 『金融辞典』; 「株式プレミアム」他19項目 大月書店

- 2007 年 5 月 編集代表：安藤英義，新田忠誓，伊藤邦雄，廣本敏郎 『会計学大辞典』第五版；「過大償却」他 9 項目，中央経済社
- 2007 年 8 月 神戸大学会計学研究室編，第六版『会計学辞典』；「貸付金」他 4 項目，同文館